

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー
「だれもが文化でつながるオータムセッション2025」

2025年8月20日（水）より **来場登録を開始**



「居場所とわたし」

Creative Well-being Tokyo だれもが文化でつながるオータムセッション2025

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

**だれもが文化でつながる
オータムセッション2025**

会期：2025年10月20日（月）～23日（木）

会場：自由学園明日館

参加費：無料

「展示・ワークショップ」「ネットワーキング」の詳細プログラムを公開
AKI INOMATA氏、小山田徹氏、中崎透氏、宮永愛子氏の出品が正式決定

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、2025年10月20日（月）から10月23日（木）の期間、重要文化財である自由学園明日館にて開催するクリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー「だれもが文化でつながるオータムセッション2025」の来場登録を8月20日（水）より開始します。

また「展示・ワークショップ」、「ネットワーキング」の詳細プログラムも公開いたしました。「展示・ワークショップ」では、アクセシビリティを体感しながら学べるワークショップをはじめ、AKI INOMATA氏、小山田徹氏、中崎透氏、宮永愛子氏のアーティスト4名が今回のテーマとなる「居場所とわたし」から想起したアート作品を出品いたします。「ネットワーキング」では、近い距離で参加者と登壇者をつながれるプログラムを用意いたします。

< 来場登録URL >

<https://pro.form-mailer.jp/fms/b960f334336402>



< だれもが文化でつながるオータムセッション2025 ウェブサイト >

<https://creativewell.rekibun.or.jp/creativewell-conference/2025.html>



≪ 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先 ≫

だれもが文化でつながるオータムセッション2025広報事務局

担当：塚本(080-2711-5540)・宮崎(090-1765-8111) E-MAIL：press@cwt2025.com

鑑賞や体験を通したさまざまな視点から「居場所とわたし」を見つめる「展示・ワークショップ」。文化施設でのアクセシビリティにかかわる各種の取り組み事例や、アート作品などの「展示」、多様な人の参加を促すツールを使った「ワークショップ」、会場の建物解説ツアーなどを行います。

展示1 都立文化施設の社会共生の取り組み

都立文化施設では、だれもが芸術文化にアクセスできる環境づくりを進めています。美術館や劇場での事例や、やさしい日本語による案内パンフレット、触知図などの実際に活用している制作物を展示し、直接情報交換できます。

展示2 カームダウンスペースの試み

施設への恒久設置やイベント会場など多様な場面での導入を想定し、カームダウンスペースのさまざまなあり方を、建築家による研究成果も含めて展示します。構造や予算といった課題も含め、芸術文化活動において、どのようなスペースが適切なのか、その活用方法をともに考え、共有します。

制作：日本大学 理工学部 建築学科 佐藤慎也研究室

協力：綿貫愛子（東京都自閉症協会 役員）

展示3 「居場所とわたし」

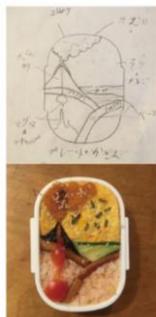
「居場所とわたし」からアーティストが想起した作品を通して、自己と他者との境界の曖昧さ、言語に限定しない他者とのコミュニケーション、社会や世界との関係性について思考をめぐらせます。アートの力を媒介に、アーティストとアート作品がもたらす、物理的な場所にとられない居場所の捉え方に会い、その可能性を考える時間となります。



AKI INOMATA (美術家)

《彫刻のつくりかた》

撮影：Hayato Wakabayashi



小山田 徹 (芸術家、
京都市立芸術大学 学長)

《お父ちゃん弁当》



中崎 透 (美術家)

《看板屋なかざき》

2014

撮影：小山田邦哉



宮永愛子 (美術家)

《留め石》

2023

撮影：宮島径

©MIYANAGA Aiko, Courtesy of
Mizuma Art Gallery

展示4 アクセシビリティ整備に活用できるデバイス

だれもが芸術文化を楽しむためには、障害のある方のみならず、すべての人がストレスなくすごせる環境を整えることが大切です。芸術文化に関する情報へのアクセス、鑑賞、参加といったあらゆる場面で、より多様な人々を受け入れる環境の整備に役立つ、聞こえ方の違いや多言語に対応したデバイスを展示します。

出展：VUEVO(ビューボ)（「だれが」「何を」話したかが直感的にわかるコミュニケーション促進ツール）

ロジャー マイクロホン（騒音下や離れた距離での音声認識を改善する難聴補助システム）

※上記4つの展示全て、10月20日（月）～10月23日（木）の期間展示しています。

※予告なく内容を変更する場合がございます。ご了承ください。

ワークショップ1 触知図をつくるには (10月21日(火) 13:30~14:30)

触知図を制作している技術者を講師に迎え、触知図をつくるのに必要な考え方、具体的な情報整理の仕方などについて、実物に触れ体感しながら学びます。

講師：上野智義 (欧文印刷 ドキュメント制作室 シニアチームリーダー)

ワークショップ2 伝わるフォントと文字組を知る (10月22日(水) 13:45~14:45)

印刷物やスライドなどで文章を表示する際の文字組みやデザインをどのように工夫すればより「伝わる」かたちにできるのか、講師や参加者同士の意見交換を交えてUDフォントの使い方を学びます。

講師：高田裕美 (書体デザイナー)

ワークショップ3 「やさしい日本語」で話す (10月23日(木) 13:00~14:00)

「やさしい日本語」の共通ルールを知り、伝え方の練習をします。相手を思いやり、一人ひとりに合わせて言葉を選択することの必要性を学んでいきます。

講師：ひらがなネット

自由学園明日館 建物解説ツアー (10月21日(火) / 22日(水) / 23日(木) 11:30~12:15)

明日館は自由学園の創設者である羽仁もと子・吉一の理念や、当時の女学生たちの生活の軌跡が随所に刻まれた趣ある建物です。フランク・ロイド・ライトとその弟子の遠藤新の設計により1921年から建設され、1997年に重要文化財に指定されています。明日館館長がツアー形式で、その建築の歴史と魅力を解説します。

Networking
ネットワーキング

“近い距離で参加者と登壇者がつながる場”

間近で話を聞きながら登壇者への質問、意見交換ができる「テーブルトーク」を通して、登壇者と参加者がジャンルを越えて交流する「ネットワーキング」。これからの取り組みにつながる関係性の構築、事業展開の機運を醸成する出会いの場を創出します。

テーブルトーク1 動画における情報保障 (10月22日(水) 13:20~14:00)

会議やイベントのオンライン開催や、アーカイブ動画の配信は、急速に需要が拡大しています。動画制作の専門家とユニバーサルシアターの創設者が、動画に必要な情報保障について語ります。

登壇者：二瓶剛 (ディレクター)、平塚千穂子 (CINEMA Chupki TABATA 代表)

テーブルトーク2 盲ろうの世界に触れる (10月23日(木) 13:20~14:00)

盲ろう者は、触手話、点字だけでなく、アプリを駆使してコミュニケーションしています。盲ろう者が社会とかわり、意思疎通を図ることの楽しさについて登壇者二人が語り合い、参加者と交流します。

登壇者：田畑快仁 (触覚デザイナー・アーティスト、京都芸術大学大学院 芸術研究科芸術環境専攻)
森敦史 (筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 研究員)

クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョーについて

芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象者に「アクセシビリティ向上」と「鑑賞・創作・発表機会の拡大」に取り組むプロジェクト。都立文化施設の情報アクセシビリティ環境を整備し、障害や年齢等を問わずあらゆる人が芸術文化を享受できるプログラムを実施しています。



だれもが文化でつながるプロジェクト

～ 感動と共感が、東京を、未来を、変えていく。みんなでつなげるサポートの輪～

オールウェルカムTOKYOは、芸術文化を中心に、アクセシビリティ向上に取り組むみなさまとともに、障害の有無や、言語・文化の違いを超えて、もっとだれもが楽しめる東京を目指すキャンペーンです。

【特設サイト】 <https://awt.rekibun.or.jp/>



「居場所とわたし」について考える4日間 「だれもが文化でつながるオータムセッション2025」開催概要

昨年実施した「だれもが文化でつながる国際会議2024」のテーマ「文化と居場所」を継承し、実践していく場として、今回は「**居場所とわたし**」をテーマとしました。国内の芸術文化事業に関わる実践者やアーティスト、研究者たちが、それぞれの「居場所とわたし」について対談する他、情報保障やアクセシビリティに関する実践例や考え方を紹介、また展示やミニトークなどで参加者のみなさんと共に多面的に学べる場を4つのセッションから創出します。

Session セッション

“芸術文化活動を支える専門的知見と理念を話し合う場”

芸術文化にかかわる活動を行う実践者と研究者や、アーティストが登壇者となり、事例や経験を共有し、その背景にある理念を語り合う「セッション」。多様な実践例を知ることで、それぞれの現場で役立つヒントや気づきを得る機会となることを目的としています。

Seminar セミナー

“芸術文化とアクセシビリティの具体的な事例を学ぶ場”

参加者が携わる分野の環境整備に役立つ、具体的な事例を発表する「セミナー」。事業の企画や運営の現場にいかせるアクセシビリティやプロジェクトの手法・知識を、その実践者や当事者から聞き、なぜ、それらが有効なのかをともに考えていく勉強会です。

Exhibition 展示

Workshop ワークショップ

“居場所とわたしについて鑑賞・体験しながら知る場”

鑑賞や体験を通したさまざまな視点から「居場所とわたし」を見つめる「展示・ワークショップ」。文化施設でのアクセシビリティにかかわる各種の取り組み事例や、アート作品の「展示」、多様な人の参加を促すツールを使った「ワークショップ」、会場の建物解説ツアーなどを行います。

Networking ネットワーキング

“近い距離で参加者と登壇者がつながる場”

間近で話を聞きながら登壇者への質問、意見交換ができる「テーブルトーク」を通して、登壇者と参加者がジャンルを越えて交流する「ネットワーキング」。これからの取り組みにつながる関係性の構築、事業展開の機運を醸成する出会いの場を創出します。

「だれもが文化でつながるオータムセッション2025」

- 会期：2025年10月20日（月） - 10月23日（木）
- 会場：自由学園明日館 〒171-0021 東京都豊島区西池袋2丁目31-3
- 主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
- 入場料：無料（要来場登録）
- 使用言語：日本語、日本手話
- URL：<https://creativewell.rekibun.or.jp/creativewell-conference/2025.html>

